



少し照れくさいけれど、今日だから言える心からの「ありがとう」がある。いつも叱ってばかりだけれど、今日は伝えたいはなむけの「おめでとう」がある。新成人は20年間の感謝をお世話になった人たちに伝え、保護者や地域の人たちは大人のスタートラインに立った新成人にエールを送る。いつの時代も変わらず、成人式は人生の節目の一つとして大切にされてきた。今年の成人式のテーマは「縁(えん)」。ふるさと七尾で結ばれた縁を糧に、未来の飛躍に向けて思いを新たにしたい新成人の姿を紹介する。



祝 平成29年成人式

～未来を切り開く527人の縁～

1月8日(日)、七尾サンライフプラザで七尾市成人式が開かれた。市内で今年成人を迎えた527人のうち、この日集まったのは468人。晴れ着に身を包んだ新成人たちは故郷で共に過ごしてきた仲間との再会を喜んだ。

成人式を企画運営するのは17人の新成人で組織された成人式実行委員会。家族や恩師、友達とのこれまでの縁に感謝し、これから結ばれる縁も大切にしていきたいと、成人式のテーマを「縁」とした。

新成人決意宣言では、坂尻仁さんと山口彩美さんが「一人の大人としての自覚を持ち、自分がやるんだという意気込みで、ふるさと七尾のために何ができるかを考えていきます」と力強く宣言。式典後には記念行事が行われ、中学校時代の恩師のビデオメッセージが上映されると懐かしのエピソードに会場が沸き、それぞれ当時の思い出を振り返った。

プログラムの最後を締めくくるのは、親からの「おめでとうの手紙」と新成人からの「ありがとうの手紙」。来場者全員が朗読に聞き入り、これまで育ててくれたことへの感謝の思いに浸る新成人たちと、大切に育ててきたわが子の成長を振り返り感極まる保護者たち。会場は感動に包まれ、成人式は幕を閉じた。

たくさんの祝福を胸に抱き、大人としての第一歩を踏み出した新成人たち。「縁」で結ばれた新成人が力強く踏み出す527の歩みが、七尾の未来を明るく照らす原動力となることが期待される。

